

**1 月 17 日に横浜市はインフルエンザ流行警報を発令しました！  
例年、流行警報（患者数の多い時期）は 3 月まで続きます。  
施設への持ち込み防止策を徹底し、感染拡大防止策を更に強化しましょう！**

市内では学校や保育施設での小児の集団発生の報告が急増しています。また、高齢者施設での集団発生や医療機関での院内感染例の報告も続いており、対策強化が必要です。

## 1 持ち込み防止対策の徹底

### （１）職員の健康管理の徹底（集団発生の多くは職員等による持ち込みが発端）

- ◆ 出勤前の検温の徹底（発熱者は勤務させずに受診させる。）
- ◆ 発熱などの体調不良時は出勤前に必ず管理者へ報告するよう指導
- ◆ 無症状の職員も含めて全員のマスクの着用を徹底
- ◆ 1 ケア 1 手洗い・手指消毒、使い捨て手袋の使用の徹底



### （２）面会に関する注意事項

- ◆ 面会制限の実施（小児 及び 有症状者[熱・かぜ症状]の面会は禁止）
- ◆ 入口付近の目立つ場所に掲示を行い、面会者にマスクの着用、手洗い及びアルコールによる手指消毒を積極的に勧奨する。

## 2 発症者の早期把握 及び 感染拡大防止

### （１）入所者や通所者等の健康管理の徹底

- ◆ 検温を毎日確実に実施または回数を増やす。（発熱者の早期把握）
- ◆ 入所者・通所者の手洗い、咳が出るときのマスク着用の徹底
- ◆ 発熱等の有症状者は、早めに個室隔離等の感染拡大防止策を実施
- ◆ 発熱者はインフルエンザを疑い早めに受診させる。



### （２）集団発生の早期把握と迅速な対応

- ◆ 患者の発生に備え、施設内での有症状者の情報共有及び報告手順、緊急時連絡体制を確認
- ◆ インフルエンザ陽性者が発生した段階で、フロア内の入所者等及び職員に対し、抗インフルエンザ薬の添付文書に基づき適正な日数の予防投与を検討
- ◆ 患者が複数名発生した場合には、直ちに個室等への隔離、面会禁止、新規受入中止、イベントの中止、スタッフ及び入所者の動線固定（他のユニット、フロアへの原則移動禁止）
- ◆ 環境消毒の徹底（職員や入所者等の共用スペースや居室の手すり、電気スイッチ、ドアノブ、エレベーターの操作パネル、蛇口、ベッド柵、サイドテーブル、カート等の多くの人が接触する箇所の消毒）

### （３）感染拡大要因の分析、再発防止策の検討

- ◆ 施設に持ち込まれた経緯、感染が広がった要因を分析する。
- ◆ 分析結果を組織全体で共有し、再発防止に向けた対策強化につなげる。

